

(公財) 日本体操協会

令和2年度第4回理事会議事録

1. 日 時 令和3年3月11日(木) 17時00分～18時45分

2. 場 所 リモート会議 (Microsoft Teams 使用)

3. 出席者 <理事・監事>

出 席

具志堅幸司(副会長)、竹内輝明(副会長)、長谷川洋子(副会長)、荒木達雄(副会長)、
山本宜史(専務理事)、遠藤幸一(常務理事)、水鳥寿思(常務理事)、田中光(常務理事)、
山崎浩子(常務理事)、竹村英明(常務理事)、後藤洋一(常務理事)、
岩瀬史子(常務理事)、加納実(理事)、萩原智子(理事)、加藤裕之(理事)、
川人亜矢子(理事)、田中理恵(理事)、田坂利明(理事)、村木啓造(理事)、
高橋史安(監事)、竹田幸夫(監事)、

理事 19 名・監事 2 名

欠 席

二木英徳(会長)、米田功(常務理事)

2 名

<関係者>

出 席

渡邊榮(事務局長)、守永直人(事務局)、

2 名

4. 議題

- | | |
|---------|---------------------------------------|
| 審議事項 1 | 2020 年度・第 2 回評議員会開催に関する事項 |
| 審議事項 2 | 2021-2022 各委員会委員長選任について |
| 審議事項 3 | 体操男子/W 杯東京大会中止に伴う対応について |
| 審議事項 4 | 体操男子/2021 年度大学生強化選手選考について |
| 審議事項 5 | 体操男子/男子ジュニアナショナル選考方法変更 |
| 審議事項 6 | 体操女子/東京オリンピック日本代表選考方法①「チーム枠 4 名の選出」 |
| 審議事項 7 | 体操女子/東京オリンピック日本代表選考方法②「個人枠(2 名以内)の選出」 |
| 審議事項 8 | 体操女子/2021 年アジア選手権代表選考方法 |
| 審議事項 9 | 体操女子/2021 年度ナショナル強化選手選出方法 |
| 審議事項 10 | 体操女子/新型コロナウイルスに関する救済措置(案) ※継続審議事項 |

- 審議事項 11 スポーツ団体ガバナンスコード審査に伴う規程の新設等について
- 審議事項 12 全日本タンブリング・ダブルミニトランポリン競技選手権における「開催時期の変更」、ダブルミニ部門の「年齢別廃止」、「参加費改訂」について
- 審議事項 13 2021 年度事業計画及び予算（案）
- 報告事項 1 FIG 2021 体操競技個人総合 World Cup 東京中止について
- 報告事項 2 2021 世界体操、新体操選手権大会 大会アンバサダーについて
- 報告事項 3 体操男子/第 75 回全日本個人総合トライアウト結果
- 報告事項 4 JOC 国際人養成アカデミー及び JSC 統括人材育成トライアルの修了について
- 報告事項 5 2021AGU ディベロップメントプロジェクト
- 報告事項 6 2021 世界体操・新体操選手権北九州大会報告
- 報告事項 7 体操男子/第 7 回ナショナル強化合宿実施について
- 報告事項 8 委員会委員退任について

5. 具志堅副会長ご挨拶

東日本大震災から 10 年が経つ。改めて被災された方々へお見舞い申し上げます。

日本でも新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が始まったが、緊急事態宣言も 3 月 21 日まで延長となり予断を許さない。体操男女は、オリンピック選考のため、国内大会が始まる。スポーツ庁制定のガバナンスコードが施行される。当協会も 2 月末に策定・提出を終えた。従来の発想から脱却して、対応する必要がある。皆様のご協力をお願いする。

6. 議長選出

定款 38 条第 2 項の定めにより、議長は、具志堅幸司副会長が議長に選出された。

7. 定足数確認

出席 19 名で定款 39 条の定足数（11 名）に達している。

8. 議事録署名人

定款 43 条第 3 項にしたがい、出席理事及び監事が議事録署名人になることが説明され、全員異議なく承認された。

9. 議事

審議事項 1 2020 年度・第 2 回評議員会開催に関する事項

議長の指名により、山本宜史専務理事は下記の説明を行った。

36 条に基づき、3 月 29 日（月）14 時からリモート会議で開催したい。事項は予算案、新設規則、世界体操・新体操等についてとしたい

特に、意見もなく、審議事項 1 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 2 2021-2022 各委員会委員長選任について

議長の指名により、役員選定委員会 荒木委員長は下記の説明を行った。

新規委員会：安全環境委員会（川人亜矢子）

器械器具委員会（島田利夫）

100 周年記念事業委員会（竹内輝明）

特に、意見もなく、審議事項 2 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 3 W 杯東京大会中止に伴う対応について（体操男子）

議長の指名により、水鳥寿思強化本部長は下記の説明を行った。

代表選手選考大会であったが中止となったため、以前の説明の通り NHK 杯で決めた
い。中止に行われるテストイベントにはナショナル選手を派遣したい。

山本専務 テストイベントはどうするのか？

遠藤理事 男子は予選フォーマット 18 名、女子は予選決勝フォーマットの 12 名で
調整している。

村木理事 辞退者が出た場合はどうするのか？

水鳥委員長 人数が極端に少なくなった場合は、競技会の流れを確認する作業になる。

遠藤理事 日程は難しい時期だが、テストをしなければいけない。審判員の見え方な
ども確認する必要がある。選手が本番会場でできるのはメリットと聞い
ている。

以上の質疑の後、審議事項 3 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 4 体操男子・2021 年度大学生強化選手選考について

議長の指名により、水鳥寿思強化本部長は下記の説明を行った。

ジュニアからナショナルに変更となる選手で対応していきたい。大学 1 年から 3 年生
が対象。NHK 杯で 6 名、インカレで 6 名 計 12 名

特に、意見もなく、審議事項 4 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 5 体操男子・ジュニアナショナル選考方法変更

議長の指名により、水鳥寿思強化本部長は下記の説明を行った。

前回承認いただいた選考方法を変更したい。コロナの影響で現在の選考方法は時間的
に難しいため、変更したい。人数を他大会に振り分けたい。

特に、意見もなく、審議事項 5 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 6 体操女子・東京オリンピック日本代表選考方法①「チーム枠 4 名の選出」

審議事項 7 体操女子・東京オリンピック日本代表選考方法②「個人枠（2 名以内）の選出」

審議事項 8 体操女子・2021 年アジア選手権代表選考方法

議長の名指により、田中光強化本部長は下記の説明を行った。

W 杯東京大会が中止となったため、全日本と NHK 杯で 3 名選出する。もう一人はチーム貢献度で行う。貢献度には本部長推薦も準備する。全日本と NHK 杯の得点を合わせ 8 位までが対象。2 種目以上の貢献が必要。

個人枠は芦川選手が今までの W 杯大会の成績からほぼ確定している。もう一枠はアジア選手権で国枠をとってくる必要がある。国枠をとったらその選手が内定。

アジア選手権出場は全日本+NHK 杯の上位 4 名を選抜。ただし 2019 世界選手権出場者は 1 名までとする。

アジア選手権は日程が厳しい、出場辞退する選手が予想されるためアジア選手権で国枠獲得選手がオリンピックも内定。

山本専務 個人の選び方をもう一度説明してほしい。

遠藤理事 アジア選手権で国枠をとるためには強い選手を出す必要がある。メリットがないと出ない恐れがある。種目別が直後にある。アジア枠獲得選手がチーム枠でオリンピック出場が決まる選手がおり、その際は資格を持っていない選手で最上位の選手が獲得する。

水鳥理事 推薦枠の基準が必要。

田中本部長 推薦枠はほぼ使わないと思う。念のための準備。

水鳥理事 アジアには強い選手がいてほしいが、その選手が種目別での獲得を目指すことがある。

田中本部長 チームはアジア選手権以外で決める。万が一のための準備。

水鳥理事 4 番目の選手がアジアに行ったら種目別に出られなくなって、代表から外れることがある。

田中本部長 その可能性はある。覚悟はしている。

水鳥理事 推薦されて行ったのにと推薦が邪魔する可能性があるのでは。

田中本部長 推薦はアジアでとるための推薦

山本専務 アジアでとった場合何が問題か

田中本部長 アジアで個人枠で代表枠とった選手の方がチーム貢献度が高い場合チームに入りたい。

山本専務 チーム貢献度で選んだ選手とアジア個人枠との選手で最後に決めるとしたらどうか

水鳥理事 アジアに行くとチーム貢献度でデメリットがあるため、選手に情報を伝えたほうが良い。

具志堅副会長 見せ方を調整することでよいか？

水鳥理事 NHK 杯まで 3 名決まるが、アジアの 4 名はその 3 名を抜いての 4 名か？

田中本部長 単純に上から意思確認する。

水鳥理事 1 から 3 が全員行った場合。4 番目が 2019 世界選手権の選手だったらどうする。

田中本部長 国枠をとった場合、4 番目の 2019 選手が代表に選ばれる。

遠藤理事 最上位の人が得るとのことではないのか。

具志堅副会長 いったん整理したいので、後ほどの議論としたい。

以上の質疑の後、審議事項 8 は、原案通り、全会一致で承認・可決され、審議事項 6・7 については後ほど議論することとなった。

審議事項 9 体操女子・2021 年度ナショナル強化選手選出方法

議長の指名により、田中光強化本部長は下記の説明を行った。

五輪代表選手、世界選手権代表選手、NHK 杯上位 12 名、協会推薦選手をナショナル選手としたい。

竹村理事 五輪代表を含めるのか

田中委員長 含む

竹村理事 書き方を調整しないとどちらかわからない。

以上の質疑の後、資料を訂正し審議事項 9 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 10 体操女子・新型コロナウイルスに関する救済措置（案）※継続審議事項

議長の指名により、田中光強化本部長は下記の説明を行った。

ワールドユニバーシティゲームスが中止となった場合を入れた。

特に、意見もなく、審議事項 10 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 11 スポーツ団体ガバナンスコード審査に伴う規程の新設等について

議長の指名により、遠藤幸一総務委員長は下記の説明を行った。

利益相反ポリシー等新設規則を入れた。

渡邊事務局長 ガバナンスコードと関係して作成した。職員給与規程、職員服務規程は新旧表を付けたので確認いただきたい。

特に、意見もなく、審議事項 11 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 12 全日本タンブリング・ダブルミニトランポリン競技選手権における「開催時期の変更」、ダブルミニ部門の「年齢別廃止」、「参加費改訂」について

議長の指名により、竹村英明事業委員長は下記の説明を行った。

開催時期を変更したい。コロナの関係で全日本を中止。6 月に変更。代表選考会としたい。年齢別と日程が重なるので、全日本の前日に年齢別の選考会を開催する。ダブルミニでは年齢別を廃止して、13 歳以上で全日本としたい。参加費が少なく運営が厳しいので、参加料を値上げしたい。

特に、意見もなく、審議事項 12 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 13 2021 年度事業計画及び予算（案）

議長の指名により、渡邊榮事務局長は下記の説明を行った。

経常収益・事業費を大幅増、理由は世界体操・新体操 が原因
2021 年度公益目的事業で経常収益 25 億 8441 万円、経常費用が 28 億 7718 万円、
経常増減が 2 億 9277 万円の赤字、収益事業が 4 億 8161 万円、管理費である法人会
計が 1 億 6017 万円で、差引 21 年度経常増減額は 2867 万円の黒字とした。

特徴は世界選手権の費用が大きい。詳細は別途をお送りする。

特に、意見もなく、審議事項 13 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

報告事項 1 FIG 2021 体操競技個人総合 World Cup 東京中止について

議長の指名により、山本宜史専務理事は下記の説明を行った。

シリーズが成立しなくなったため、返上した。

報告事項 2 2021 世界体操、新体操選手権大会 大会アンバサダーについて

議長の指名により、山本宜史専務理事は下記の説明を行った。

2021 世界体操・新体操の大会アンバサダーとして、男子体操に早田卓次さん、女子
体操にラリサ・ラチニナさん、新体操にエフゲニア・カナエバさんの 3 名を推薦する
こととした。

報告事項 3 第 75 回全日本個人総合トライアウト結果（体操男子）

議長の指名により、水鳥寿思強化本部長は下記の説明を行った。

トライアウトが緊急事態宣言下であったためビデオ申請にて対応した。5 名の選手の
追加となった。

報告事項 4 JOC 国際人養成アカデミー及び JSC 統括人材育成トライアルの修了につい て

議長の指名により、水鳥寿思強化本部長は下記の説明を行った。

協会代表して参加した。日程調整が上手くいかず 3 年かかってしまった。良い機会で
あり、受講の機会を与えてもらったことに御礼申し上げる。

報告事項 5 2021 AGU ディベロップメントプロジェクト

議長の使命により、竹内輝明国際委員長は下記の説明を行った。

普及のための事業報告

報告事項 6 2021 世界体操・新体操選手権北九州大会報告

議長の指名により、守永直人事務局員は下記の説明を行った。

10 月に福岡県北九州市にて世界体操・新体操選手権を同時開催する。

女性スタッフ 80%を目指す。

予算は 19 億 5 千万。4 月 1 日組織委員会設立予定

その他（審議事項 6・7 の再審議）

審議事項 6 東京オリンピック日本代表選考方法① 「チーム枠 4 名の選出」

審議事項 7 東京オリンピック日本代表選考方法② 「個人枠（2 名以内）の選出」

田中本部長 アジア選手権で個人枠をとりたいが、アジア選手権が国内大会と重なっている。ライバルも枠を狙いに来っており、実力ある選手で枠を取りに行きたい。帰ってきての自主隔離など制限が多い。そのためアジア選手権にメリットを付けたい。

水鳥理事 資料をはっきりさせたほうが良い。

田中本部長 チーム 3 枠確定選手はアジア選手権には行かないと思っている。

山本専務 NHK 杯での代表選手は行かないとして、はっきりさせたほうが良いのではないかと。

水鳥理事 良いかと思う。

遠藤理事 問題はないが、7 番が問題がある。本部長推薦の場合がややこしい。

水鳥理事 アジアの 2 番目がシンプルかと思う。男子は個人はメダル獲得可能性がある種目別選手として見ている。枠をとるために個人総合が強い選手が必要であるが、そもそも 4 位の選手。メダルは難しい。

田中本部長 そこは把握しての提案。

竹内副会長 東京オリンピックの目的は何か。

田中本部長 団体メダル獲得

竹内副会長 目標に向かうべき、チーム優先にしてはいかかがか。

田中本部長 チーム優先にしての提案。

具志堅副会長 軸をブラさないように

田中本部長 アジア選手権は枠の獲得を目標としている。もしものための書き方。

山本専務 アジア選手権での国枠獲得を目標にしている。ただチーム貢献度を優先しての提案として大丈夫か。

水鳥本部長 NHK 杯で 4 名決めたらシンプル。

田中本部長 NHK 杯で 4 名決めてしまったら、あとから入った選手の方がチームが得点高くなる可能性があるための提案。

竹内副会長 再度提案してもらったらどうか 誰が見てもわかるような書き方が必要。

具志堅副会長 メダルを取ることが必要とわかりやすくする必要がある。

山本専務 この案件の再度オンラインで会議が必要と考える。

岩瀬理事 メディアからまだ決まっていないのかと意見がある。決まっているところだけでも出したらどうか。

具志堅副会長 NHK 杯 3 名だけでも報告して良いか、田中本部長判断してほしい。

山崎本部長 3 名までは発表でよいかと思う。

田中本部長 3 名決定。

具志堅副会長 チーム貢献度のところをオンラインで継続審議とする。

竹村理事 救済措置のところで、派遣標準得点について資料訂正が必要ではないか。

田中本部長 世界選手権には必要となる。

以上の後、審議事項 6、7 は NHK 杯までの上位 3 名については確定。チーム貢献枠については継続審議することとなった。

議長は、すべての議案の終了を確認し、18 時 45 分に閉会を宣言した。

令和 3 年 3 月 11 日

議 長	具志堅	幸 司
出席理事	竹 内	輝 明
	長谷川	洋 子
	荒 木	達 雄
	山 本	宜 史
	遠 藤	幸 一
	水 鳥	寿 思
	田 中	光
	山 崎	浩 子
	竹 村	英 明
	後 藤	洋 一
	岩 瀬	史 子
	加 納	実
	萩 原	智 子
	加 藤	裕 之
	川 人	亜矢子
	田 中	理 恵
	田 坂	利 明
	村 木	啓 造
出席監事	高 橋	史 安
	竹 田	幸 夫